川越市蔵造り資料館店蔵ほか耐震化工事の請負契約解除の経緯と今後の対応について

1　主な経緯

平成２９年６月２８日、株式会社エム・テックと店蔵等の耐震化工事請負契約を締結。契約後判明した腐朽箇所の追加補修工事請負契約を締結したが、その後も腐朽箇所の確認が続いたため、平成３０年９月２８日、平成３２年度までの継続費の補正議案を議決した。

１０月１日、受注者が東京地方裁判所に再生手続開始の申し立てを行い工事は中断。経緯、現状および工事継続の意向等や支援企業の下で再生手続を進める旨説明があった。東京地裁が再生手続開始を決定し、現場代理人から工事再開に向けて確認している旨連絡があったが、２１日、受注者から契約解除の通知があり、１１月２０日、東京地裁が破産手続開始を決定した。

2　現場の管理

現場は市が引き継ぎ、職員が交代で現場内、周囲等の安全確認を行うなど、日常の管理を行っている。受注者がリース契約で設置した仮設資材について、現場事務所等は引き上げを行っているが、仮囲い等は今後も継続して設置するようリース会社と協議している。

3　工事の清算

出来形部分の請負金額を算出し、出来高検査後に工事の清算となる。前払金が出来高を上回る場合の差額や、契約解除に伴う違約金（請負代金額の１０％相当額）は保証契約により保証される見込みである。

4　今後の対応

当面は引き続き市が現場の安全管理に努め、緊急に必要な工事や作業は施工していた下請け業者等に確認し対応していく。これまでは、オリンピック・パラリンピック開催までの工事完了を計画していたが、今後は平成３２年度末までに完了させるよう進めていく。

市政に関する一般質問

今定例会では、２１名の議員が一般質問を行いました。

会議録の閲覧

【今定例会の会議録】
議会ホームページ、または図書館等で２月下旬頃から閲覧できます。

【閲覧場所】
図書館／市民センター／議会事務局／情報公開窓口（東庁舎）

一般質問の表題

会派名　議員氏名　質問の順番

問　質問の要約

答　答弁者
※（質問の要約）

質問　通告事項の要約

（答弁の要約）
※印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

北環状沿道の土地利用促進

やまぶき会　小高浩行　1

問　現在も北環状線の沿道に外食産業やガソリンスタンド、コンビニ等の土地利用が進んでいるが、今後の土地利用誘導の考え方はどうか。

答　都市計画部長　川越北環状線の沿道は、おおむね東武東上線を境に北側区間が市街化調整区域、南側区間が市街化区域として区域区分されている。南側区間においては、用途地域の指定状況を生かした幹線道路沿道の商業業務系の施設などの土地利用が期待され、北側区間の市街化調整区域の沿道については、都市計画法の開発許可基準等の範囲内で、外食産業やコンビニなど幹線道路の沿道特性を生かした土地利用が進むものと考えている。

質問　川越北環状線の課題等

質問　３歳児健診の視力検査

空き家の利活用について

自由民主党　栗原瑞治　2

問　空き家の利活用により防犯防災上の問題の解決、さらに地域・市内企業の活性化も期待される。利用しやすい空き家バンク設置について市の考えは。

答　市民部長　今年度中に空き家バンクを設置できるよう調整を進めている。空き家バンク登録件数を増やすためには、空き家バンク設置を広く周知し、その制度を理解してもらう必要がある。また、空き家バンクの有効活用には、利用者が必要とする情報等を分かりやすくホームページ等に掲載する必要がある。広報紙に空き家バンクを含めた空き家対策について掲載するほか、分かりやすいパンフレットを作成するなど、さまざまな方法で周知、理解に努めていきたい。

質問　空き家の利活用

大人のひきこもり8050

自由民主党　吉野郁恵　3

問　子のひきこもりが長期化し、親が高齢化する８０５０問題が進行すると、行政の支援がさらに困難となる。大人のひきこもりへの有効な対策は。

答　保健医療部長　既にひきこもりになってしまっている人への対策としては、家族等に相談先の周知を図ることと併せて、悩んでいる人に気付き、声を掛け、必要な支援につなぐきっかけを作る地域にいる身近な人を増やすことが有効と考える。

また、ひきこもり予防には早期支援が重要であり、若年期の丁寧な支援により早期回復が期待できると考える。特に教育関係機関や県のひきこもり地域支援センター等と連携を強化していきたい。

質問　川越農産物ブランド化

質問　大人のひきこもり